

知的に障害のある人のための
生活支援ファイル
シートブック 3 (小中学生 編)

は た つ じ ょ う き ょ う
発達 は た つ の 状 況 じ ょ う き ょ う

【小学生(低学年)】

【小学生(高学年)】

【中学生】

ねんれい は た つ じ ょ う き ょ う き ろ く
年齢ごとの発達 は た つ の 状 況 じ ょ う き ょ う を 記 録 して いく シートで
す。ご本人 ほんにん の 発 達 は た つ を 客 観 的 に 記 録 する こと が でき る
よ う、サ ー ビ ス 利 用 の 基 準 きじゆん に なる 認 定 にんてい な どの 調 査 ちようさ
こ う も く さん こ う さ く せ い
項 目 を 参 考 と して シート を 作 成 して います。

社会福祉法人 名古屋手をつなぐ育成会

令和2年度まもる部会
令和3年度版

作成者：

発達の状態

構成

発達の状態 3	乳幼児期	3-①	5
	小学生（低学年） //（高学年） 中学生	3-②	4
	15～18歳 青年期 壮年期～	3-③	6

ファイリング・記録の要点

- 資料を集めましょう
母子手帳・通知表・連絡帳・支援計画など
成人の方は振り返って記入する必要はありません。代わりに資料を大切に保管しましょう。
- 成長にあわせて記録を書き換えましょう。
その際は、新しい用紙を用意し、以前のものは記録として残しましょう。
小学生から中学生は3年ごと程度には、書き換えるといいと思います。
- シートの活用の仕方。
発達の状態の他、驚いた、困ったといった行動、気づいた時期や心配に思うことなどを自由に記入しましょう。お子さんの状況が整理され、相談や受診のときなどに役立ちます。また、行動特性などを知ることができ、支援に役立ちます。
印象に残るエピソードや繰り返されるエピソードからは、診断や支援の参考になる重要な要素が見つかることもあります。
日常生活の状況を具体的に記入する欄もあり、将来、障害年金を申請する際必要となります。（20歳になると障害年金の申請が可能になります。申請には約3年ごとの状況の記入が必要になります。）

【小学生(低学年) ・ 小学生(高学年) ・ 中学生 共通】

※障害児福祉サービスの支給決定に使われる調査項目を参照しています。 5領域 10項目	
領域と項目	現在の状況・頻度・エピソード・適切な支援がない場合の様子
1 食事	
2 排せつ	
3 入浴	
4 移動	

【小学生(低学年) ・ 小学生(高学年) ・ 中学生 共通】

※障害児福祉サービスの支給決定に使われる調査項目を参照しています。〈5領域 10項目〉	
領域と項目	現在の状況・頻度・エピソード・適切な支援がない場合の様子
5 行動障害および精神症状	
5-1 強いこだわり・多動・パニック等の不安定な行動	
5-2 睡眠障害や食事・排せつに係る不適応行動	
5-3 自分をたたいたり傷つけたり、他人を叩いたり蹴ったり、器物を壊したりする行為	
5-4 気分が憂鬱で悲観的になったり、時には思考力が低下する	
5-5 再三の手洗いや繰り返しの確認のため日常動作に時間がかかる	
5-6 他者と交流することの不安や緊張のため外出できない。また、自室に閉じこもって何もしないでいる	

【小学生(低学年) ・ 小学生(高学年) ・ 中学生 共通】

※障害児福祉サービスの支給決定に使われる調査項目を参照しています。〈行動援護の調査項目〉

領域と項目	現在の状況・頻度・エピソード・適切な支援がない場合の様子
6-1 本人独自の表現手段を用いた意思表示	
6-2 言葉以外のコミュニケーション手段を用いた説明の理解	
6-3 多動または行動の停止	
6-4 パニックや不安定な行動	
6-5 自分の体をたたいたり傷つけたりするなどの行為	
6-6 たたいたり蹴ったり器物を壊したりなどの行為	

【小学生(低学年) ・ 小学生(高学年) ・ 中学生 共通】

※障害児福祉サービスの支給決定に使われる調査項目を参照しています。〈行動援護の調査項目〉

領域と項目	現在の状況・頻度・エピソード・適切な支援がない場合の様子
6-7 他人に抱きついたり、断りもなく物を持ってくる	
6-8 環境の変化により、突発的に通常と違う声を出す	
6-9 突然走っていなくなるような突発的行動	
6-10 過食、反すう等の食事に関する行動	
6-11 食べられないものを口に入れること	
6-12 てんかん発作	